

クアラルンプール・マニラ・ジャカルタ・ソウルのリフォーム事情

<https://reform-nisso.co.jp/> ニッソウ 海外リフォームレポート

ここでは、東南アジアのリフォーム事情を述べてみる。

ソウルは別にして他の3国は、温暖な気候でそこには青々と広がる海と空、真っ白な白浜などが浮かぶ。

そのリフォームとなると、豊かな自然をイメージした木材の感覚（木のぬくもり）をふんだんに取り入れた内装が主流である。

どの国にいても日本でいえば沖縄のリゾートホテルのような内装にリフォームしたがる
といえば分かりやすいであろうか。

和風とも洋風ともいえないアジアならではの、それでいて南国を意識したリフォーム。

共通していえるのは、床材に石（大理石）を多く使うことである。これは暑い国ならではの
ことである。

また暑いので空調の整備は必須である。

照明器具は、青白色の放つ蛍光灯はNGで、柔らかく落ち着いた雰囲気の電球色が似合う。

ポイントに観葉植物取り入れ、嗅覚を刺激する南国の花ブルメリアの香りも素敵。

マレーシア（クアラルンプール）のリフォーム業者は超適當の会社が多く前払いすると使い
込みしてしまうような会社が沢山ある。

同様に**フィリピン（マニラ）**は安定した技術を提供できるリフォーム業者がないため、業

者探しが大変である。

インドネシア (ジャカルタ) は、無垢木材を多く使う内装が主であるが、若者的には近代的なメタリックな素材に憧れが多く、今後はガラスやステンレス素材などを使うリフォームが流行ると思われる。

共通していえることだが各国ともメイド文化があるので、料理はメイドが作るものという風潮、なのでともともキッチンの作りが雑、これからはキッチンを素敵にするリフォームが流行るとも思われる。

最後に**韓国 (ソウル)** だが、入居者の負担でクロスの張替などをして自分の住みやすい空間にインテリアをかえることが多い、大家さんの許可が必要ではあるが、家具を買い替える感覚である。また韓国は教育熱心なのでお子さんのために防音の個室を作る勉強部屋リフォームなどが流行りそうな予感がする。

韓国は別にして、日本のリフォーム業者が東南アジアに進出するチャンスは大とみる。

問題は現地の職人をどう統制するかではないか。